



たかまる通信 第10号

2006.1.7
財務資料

発行
福岡たかまる後援会
TEL 0952-30-0555
e-mail takamaro@tskamaro.jp
ホームページ: www.takamaro.jp



「処事光明」

いま一度フェアプレイの精神に立ち返ろう

三善グループには四代目社長であった石崎小堀太氏が示したとされる「三善三綱領」と言われる行動指針があります。「所期奉公（＝社会のために）」、「処事光明（＝フェアプレーに徹する）」、「立葉貢易（＝グローバルな視野で）」です。これらの言葉は、時代を経ても色あせることなく、私たちが生活していく上でのあり方を教えてくれます。

年末、日本中が効率建築士による耐震偽装問題で揺れました。一部の人たちがルールを逸脱した行為をすることによって、社会全体の秩序が乱れようとしています。もちろん、再発を防止するための制度的な取り組みは必要です。しかし、それ以上に「フェアプレーの精神」という当たり前のことが失われようとしていることに、大きな不安を覚えます。

新しい年を迎える今、一度当たり前のことを考え、当たり前に行動する年にしたいと思います。

新しい年を迎えるにあたつて

明けましておめでとうございます。それぞれの想いを持って新年をお迎えになられたことと存じます。皆様方にとってさらに飛躍の一年となりますよう心から祈念致します。

昨年は、私にとって人生の大きな節目の年となりました。郵政民営化を巡る突然の解散劇によって行われた九月十一日の総選挙において、皆様方にご信任頂き、佐賀一区より衆議院議員に初当選をさせて頂きました。「改革を止めるな」というキャッチフレーズのもと、与党に多くの議席を頂いた今回の選挙の意味を十分に噛みしめ、今後の議員活動を行っていきたいと思います。

総選挙がもたらしたもの

総選挙では、四百八十(小選挙区^{第1})・三百、比例区^{第2}・一百八十一の定数に対し、自民党二百九十六、公明党三十と与党で三分の一を超える三百二十六議席を得ました。私も予想だにしなかつたこの大勝利は、同時に小選挙区制度の恐ろしさを感じさせたものでした。

にも満たない十七・三%(五十二議席)しかありませんでした。得票数で、わずか一・三倍の差が、議席数では四倍を超す差がついたわけです。

小選挙区では二つの政党が雪崩を打つように勝利を収めることができます。九七、〇一、〇五年の英國総選挙や九三年のカナダ総選挙がそうでした。

八十三人の力

一方で議員にとっては、手をゆるめるとすぐに取つて代わられるという厳しい状況にあることを肝に銘じなければいけません。

政治家としてのあり方

政界に出てみて思うことは、いろんな背景をもつた優秀な方が集まっていること。まさに多士済々。そんな中で、国を動かす中心に座るためには、知識もさることながら、どれだけ肝が据わっているかが必要だと思います。

自民党の夢づくり道場で、日経のコラムニストの田勢康弘氏が講演をされた際に、西郷隆盛の「南洲翁訓」の次くだけを紹介されました。「命もいらず、名もいらず、官位も金もない

まりの間にも、政府与党は政府系金融機関の統廃合、議員年金の廃止、社会保険庁の解体、特別会計の見直し、医療制度改革など矢継ぎ早に改革を打ち出しています。これは、選挙では信任を得られないという危機感が原動力となっていることは言うまでもありません。

小選挙区制の怖さを与野党共に味わつた今回の選挙の意味は大きく、支持団体だけではなく一般の有権者の支持が得られるかどうかを常に考えながら政治が行われる土壤ができることがあります。民意を反映する意味でも望ましいことではないかと思

ます。

ところで、私は佐賀選出の衆議院としては過去最年少となります。しかし、今回初当選組の八十三人の中でも年月日でもすでに八番目。自民党も大きく若返ったことを実感させられます。

らぬ人は始末に困るもの也。此の始末に困る人ならでは、艱難を共にして国家の大業は成し得られぬ也。^{※3}

今回の解散劇で小泉総理を支持した人の中には、小泉総理が「殺されてもいい」と語った姿を見て、その意気込みにかけた人が多かったのだ

と田勢氏は分析しました。小泉首相の手法には賛否両論ありますが、自

分が信念を持ったことに對して、腹を据えて取り組むという姿勢は大いに見習うべきものがあると感じます。でも、何の世界でも、成功するために必要な資質だと思います。

通常国会に向けて

一月二十日から、通常国会が始まります。小泉総理の任期切れを九月に控えて、小泉改革の総仕上げを行うと共に、次の総裁に誰を選び、どのような舵取りを行っていくかを決める重要な時期でもあります。

今年一年を迎えるにあたって、「見極め」を自分自身のテーマとして設定しました。本当に必要な改革は何か、そしてその改革を誰の手に委ねるべきか…。まさに今後の日本を占う決定に自分も関与できることは、幸せでもあると同時に、責任重大です。本質は何なのかをしっかりと見極め、慎重かつ大胆に行動していきます。

新時代を切り開くために

昨年から始まつたとされる人口減少社会。少子高齢化が急激に進む中で、今までの社会のあり方では対応できないことが増えてきています。そんな中で、社会のあり方をもう一度根本から考え直す時期が来ているよう思います。

例えば、年金では、若年層の国民年金の不払いが問題となっています。そして、将来そのような層が、生活保

護を受けることになつたら財政に与える影響は計りません。

「共生」。地球環境の中で生きること、人間社会の中で生きること。その上で前提となるのは、周囲に配慮すること、そしてその中で自分のできることを「生懸命やることだと思います。しかし、その前提条件が壊れてきている。青少年をターゲットにした殺人事件や、耐震偽装問題などが相次ぐ社会情勢には危機的なものさえ感じます。

「新しい日本の礎を作らん」…若くして国政に出ることのできた私に課せられた使命だと思つてしまつかりと取り組んでいきたいと思います。

※1 小選挙区制

「選挙区から1名の議員を選出する制度。英米など採用されている。

二大政党制が誇張され政権交代が起こりやすくなると言われているが、死票が多くなり少數意見が反映されにくいう缺点により、日本では一九九四年の公職選挙法の改正により、比例代表制と並立して導入された。

※2 比例代表制

各政党に投じられた票数に比例して当選者数を決定する選挙制度。

日本では一九八二年の参議院議院選挙から、全国を選出基準とする候補者を対象に採用された。

※3

命もいらぬ、名もいらぬ、官位もいらぬ、金もいらぬというような人は処理に困るものである。このような手に負えない大馬鹿者でなければ困難と一緒に分かち合い、国家の大きな仕事を大成することができない。



新人議員の集合写真(本人後列左)

平成18年度政府予算案

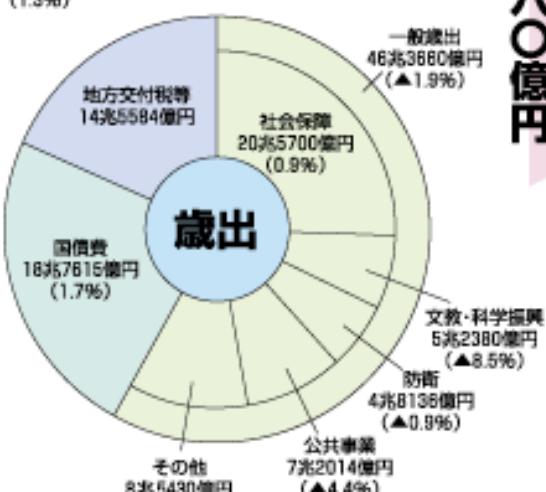
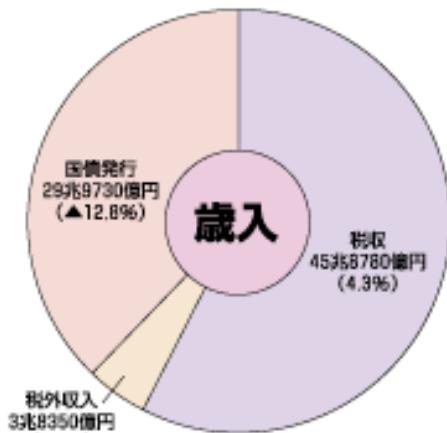
一般会計 七九兆六八六〇億円

平成18年度予算の特色

- 1.国債発行額 <29兆9,730億円(▲4.4兆円)>
「30兆円」を下回る水準を達成
(13年度予算(28.3兆円)以来、5年ぶり)
- ・過去最大の減額幅(対前年度▲4.4兆円の減)
・それでもなお国債残高は、前年度比で増加する見込み
18年度末普通国債残高(見込み) 542兆円(+5.3兆円)
- 2.公債依存度 <(3.7% (17年度:41.8%)>
14年度予算(36.9%)以来、4年ぶりの30%台復帰
- 3.一般歳出 <46.4兆円(対前年度▲0.8兆円)>
17年度予算(▲0.3兆円)に引き続き、2年連続で減額
- 4.一般会計 <79.7兆円(対前年度▲2.5兆円)>
10年度予算(77.7兆円)以来、8年ぶりに70兆円台へ
- ・一般会計の減額は、14年度予算以来4年ぶり
- 5.基礎的財政収支 <(▲11.2兆円(対前年度+4.7兆円の改善))>
16年度予算から3年連続で改善
- ・昨年(3.1兆円)を上回る4.7兆円の改善(ここ3年間、着実に改善)
15年度 ▲19.6兆円 → 16年度 ▲19.0兆円 → 17年度 ▲16.9兆円 → 18年度 ▲11.2兆円
(△:4兆円の改善) (△:3.1兆円の改善) (△:4.7兆円の改善)

一般会計総額は十七年度当初予算比二%減。四年ぶりに一般会計を減額し、八年ぶりに八十兆円を下回りました。新規国債発行額も五年ぶりに三十兆円以内に抑えるなど小泉政権発足以来最も緊縮型の予算となっています。

国債の依存度は四・八%から三七・六%になり、当初予算ベースで四年ぶりに四十%を切りました。また、財政融資資金特別会計から十二兆円を国債償還に回したため、十八年度末の国債発行残高は五百四十一兆円(十五・三兆円)と微増にとどまる見通しです。



()内は前年度当初比



案内

議員会館へ お越しください

東京での活動拠点となる議員会館の部屋が決まりました。

衆議院第二議員会館の六・八号室です。広さは、四十畳ぐらいで、常に四五人がいるため、決して広いとは言えませんが、出張などで近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。ご希望であれば、国会内をご案内することも可能です。

国会開会中であれば、皆さんが知っている有名議員を見かけることもあります。ご来訪、心よりお待ちしております。

TEL 03-3350-8762
FAX 03-3350-8762
〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館6・2・8号室

案内

国政報告を 随時開催します

国会当選後も、いろいろな方々に主催して頂いて、各地で国政報告会を開催させて頂いております。ぜひ、国政報告の場を企画してください。少人数でもお伺い致します。事前に興味のあるテーマをお申し付け頂ければ、今の動きをお話し致します。

また、当方でも随時開催していくます。詳細は、チラシやホームページなどでお知らせ致しますので、ご都合のつく方はぜひお越しください。

